



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第45号
令和4年 3月 7日

3年生 ミルクプロジェクト

～牛乳の飲み残しを減らすためのパッケージ作り～



できあがった作品を見比べていました。

千葉県は日本の酪農発祥の地と言われています。八千代市も主要な生乳生産地の一つです。八千代市の酪農は、昭和初期に乳業会社系列の牧場が東京から移転してきたことから始まったようです。

3年生の社会科では、地域に見られる生産や販売の仕事について学習します。そこで、本校では、毎日の給食にも出てくる牛乳に焦点を当て、総合の学習を柱に教科横断的な学習を取り入れ、3年生「ミルク

プロジェクト」として学習してきました。これまでの取組については、校長室だより 17号、29号でも記載してきました。詳細はホームページの校長室だよりをご覧ください。

さて、保護者の皆さまも新聞等でご存知かと思いますが、新型コロナウイルスの影響で、飲食店の消費量が落ち、学校がお休みとなる冬休み頃に牛乳が余り、廃棄しなければならない状況にあるというニュースが流れました。このときは、多くの方々の努力で廃棄は回避されました。しかし、同じことがこの春休み頃にも起こるのではないかと懸念されています。

3年生は、これまでの学習を通して、酪農に対する理解を深め、いのちの温もりを感じ、食への関心を高めてきました。現在3年生は自分たちにもできることとして、牛乳の飲み残しを減らすための取組の一つとして牛乳パックのデザインづくりに取り組んでいます。

この取組については、1学期に興真乳業の方と打ち合わせをし、牛乳の消費拡大に向け、商品化できないか相談をした経緯があります。しかし、商品化をするには、いろいろ決まりがあり、3年生の発達段階を考えると難しいことがわかりました。そこで、子供たちのデザインをしたパッケージを興真乳業様のホームページに掲載することは可能かどうか打診したところ、可能であるというお返事をいただき、準備を進めてきたといういきさつがあります。

子供たちの考えが反映されたかどうかはわかりませんが、先日、右記のような牛乳飲用促進デザインパッケージのお知らせが来ました。子供たちの考えたことと興真乳業様の考えが同じ方向を向いていたということにわくわく感を覚えました。

興真乳業株式会社

牛乳飲用促進デザインパッケージの供給について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は学校給食用牛乳供給事業について、格別のご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、令和3年度3学期末の学校給食用牛乳200mlのパッケージを、牛乳飲用促進パッケージに変更いたします。今年度年末年始にかけて話題になった生乳の廃棄問題は、学校給食用牛乳の供給が無くなる今年度末も発生する可能性があります。当社は牛乳製造業者として、下記のようなパッケージに変更する事により、児童・生徒様に学校給食停止期間も牛乳の飲用をしていただけるよう情報発信をさせていただきます。一目でパッケージが変更された事に気づいていただけるよう、通常パッケージと配色を逆にしております。また、広告欄には「牛は生き物」を掲載し生乳は生産調整が難しい事を伝え、その他にも児童・生徒様に興味を持っていただけるよう遊び心を加えております。当社は今後も「安心安全」な学校給食用牛乳を供給して参りますので、酪農・乳業界の事情をご賢察いただき、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

牛乳飲用促進パッケージ供給期間：令和4年3月上旬から学期末まで
牛乳飲用促進パッケージデザイン

現行品



変更品



おめでとうございます。

第74回千葉県小中高校書き初め展覧会にて、4年生 榎山 優奈さんが中央審査に進み「千葉日報社賞」を受賞しました。

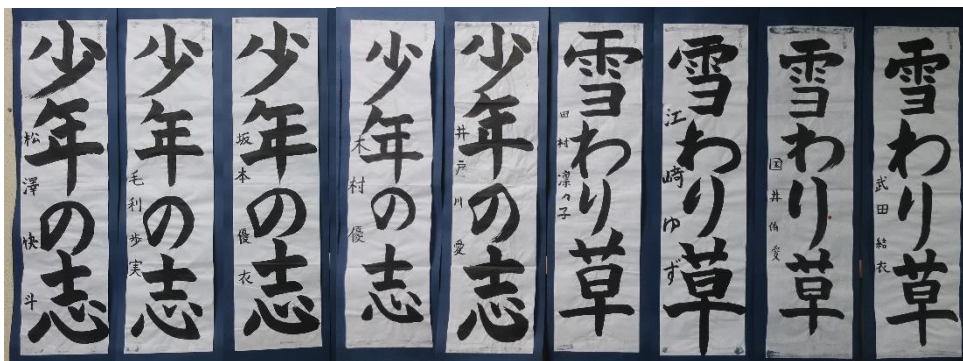
千葉日報社賞のような特別賞を受賞したのは、市内の小学校(1~6年生)22校中7名だけです。4年生だけに限って言えば、市内でたった一人の受賞者でもあります。おめでとうございます。



地区特別賞(2名), 書星会賞(19名)の作品介绍

6年

5年



4年

3年

1年

